

平成22年度 山内図書館の目標

基本目標:

市民の課題解決や暮らしに役立つ情報を提供し、積極的な図書館サービスを展開します

全体目標	山内図書館の取組	実施状況	評価
目標1 市民が必要とする資料・情報を収集します	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資料担当者を配置し、図書や雑誌だけでなく、新聞のクリッピングや写真などの地域資料の収集も行います。(通年) ●レファレンスカウンターにデジタル資料検索専用パソコンを設置し、経済動向のわかる「日経テレコン21」新聞・雑誌記事をキーワードで検索できる「聞蔵」等有料データベースを導入し、情報提供を行います。(通年)有料データベース利用のレファレンス件数300件/年 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資料担当者を配置し、図書や雑誌だけでなく、新聞のクリッピングや写真などの地域資料の収集に努め、ホームページで公開しました。(通年) ●レファレンスカウンターにデジタル資料検索専用パソコンを設置し、経済動向のわかる「日経テレコン21」新聞・雑誌記事をキーワードで検索できる「聞蔵」等有料データベースを導入し、情報提供を行いました。(通年)有料データベース利用のレファレンス件数250件/年 	C
幅広い資料・情報の収集 課題解決の支援のための資料・情報の収集 地域に関する資料・情報の収集 利用しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●書架案内図やサインの整備を行い、利用者の便宜をはかります。(通年) ●マリージェム(熱帯魚水槽)を設置し、癒しの空間としての図書館を演出します。(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> ●書架案内図やサインの整備を行うとともにレイアウトを一部変更して閲覧席を増やすなど、利用者の便宜をはかりました。(通年) ●マリージェム(熱帯魚水槽)を設置し、癒しの空間としての図書館を演出しました。(通年) 	
目標2 資料・情報と市民を結び付けます	<ul style="list-style-type: none"> ●山内図書館ホームページを作成し、生活に密着した「毎日見たくなる」情報を提供します。(通年) ①メールマガジンによる地域資料や話題の本の紹介などを行います。メールマガジン登録件数目標50件 ②ブログにより山内図書館の存在・活用法をPRします。 ③イベント情報やニュースなどを掲載して情報発信します。 ●国民読書年にちなんだ企画「読書の空間」パネル展示を実施します。(6月) ●青葉区を知る企画「青葉区の歴史及び自然を学ぶ」を実施します。 ●カウンターだけでなくサービスを提供するスタッフ全員が「窓口」であるとの心がけで対応します。(通年) ●レファレンス専用デスク「やまうちよろず相談処」を設置します。(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> ●山内図書館ホームページを作成し、生活に密着した「毎日見たくなる」情報を提供しました。(通年) ①メールマガジンによる地域資料や話題の本の紹介などを行いました。メールマガジン登録件数155件 ②ブログにより山内図書館の存在・活用法をPRしました。 ③イベント情報やニュースなどを掲載して情報発信しました。 ●国民読書年にちなんだ企画「読書の空間」パネル展示を実施しました。(6月) ●青葉区を知る企画「青葉区の歴史及び自然を学ぶ」を実施しました。(5月、8月、10月) ●カウンターだけでなくサービスを提供するスタッフ全員が「窓口」であるとの心がけで対応しました。(通年) ●レファレンス専用デスク「やまうちよろず相談処」を設置しました。(通年) 	A
市民の学び・調査研究や課題解決への支援 図書館の存在・機能・役割の広報 国民読書年事業をはじめとする企画事業の実施 ホームページや印刷物などを利用した情報発信 利用者への親切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ●学校連携担当を配置し、新しい学校支援の体制を整えます。(通年) ●青葉区の小中学校へ訪問して学校図書館運営のアドバイスなどを行います。(通年)アドバイス校10校/年 ●おはなしボランティア「空飛ぶじゅうたん」と連携し、おはなし会を継続します。(通年) ●図書館キッズサポーター企画を実施し、子どもたちに図書館の業務を体験してもらいます。(9月)定員10名 ●読み聞かせボランティア養成講座を行い、ボランティアを増加させるとともにレベルアップを図ります。(6、12月)新人ボランティア5名増/年 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校連携担当を配置し、新しい学校支援の体制を整えました。(通年) ●青葉区の小中学校へ訪問して学校図書館運営のアドバイスなどを行いました。(通年)アドバイス校12校/年 ●おはなしボランティア「空飛ぶじゅうたん」と連携し、おはなし会を継続しました。(通年) ●図書館キッズサポーター企画を実施し、子どもたちに図書館の業務を体験してもらいました。(参加者数 9月5人・12月3人・3月6人) ●読み聞かせボランティア養成講座を行い、ボランティアを増加させるとともにレベルアップを図りました。(6、12月)新人ボランティア13名増/年 	
目標3 「横浜市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ●「山内図書館利用者フォーラム」を開催し、利用者の声を反映します。(10月) ●青葉区民交流センター、あおば国際交流ラウンジまつりにブースを出展し、図書館のPRをするとともに、地域のニーズを把握します。(11月) ●文庫・読書会等登録団体を対象とした交流会を開催し、団体相互の連携を強めることで、より活動を活性化させます。(7月) ●青葉区図書取次サービスを拡大し、取扱い冊数を増加させます。取扱い冊数400冊/日 	<ul style="list-style-type: none"> ●「山内図書館利用者フォーラム」を開催し、利用者の声を反映しました。(9・12月) ●青葉区民交流センター、あおば国際交流ラウンジまつりにブースを出展し、図書館のPRをするとともに、地域のニーズを把握しました。(11月) ●文庫・読書会等登録団体を対象とした交流会を開催し、団体相互の連携を強めることで、より活動を活性化させました。(7月) ●青葉区図書取次サービスを拡大し、取扱い冊数を増加させました。また繁忙期に駆返却ポストの巡回回数を増やし、円滑なサービスに努めました。取扱い冊数510冊/日 	B
目標4 市民や外部機関と連携し協働を進めます	<ul style="list-style-type: none"> ●「山内図書館利用者フォーラム」を開催し、利用者の声を反映します。(10月) ●青葉区民交流センター、あおば国際交流ラウンジまつりにブースを出展し、図書館のPRをするとともに、地域のニーズを把握します。(11月) ●文庫・読書会等登録団体を対象とした交流会を開催し、団体相互の連携を強めることで、より活動を活性化させます。(7月) ●青葉区図書取次サービスを拡大し、取扱い冊数を増加させます。取扱い冊数400冊/日 	<ul style="list-style-type: none"> ●「山内図書館利用者フォーラム」を開催し、利用者の声を反映しました。(9・12月) ●青葉区民交流センター、あおば国際交流ラウンジまつりにブースを出展し、図書館のPRをするとともに、地域のニーズを把握しました。(11月) ●文庫・読書会等登録団体を対象とした交流会を開催し、団体相互の連携を強めることで、より活動を活性化させました。(7月) ●青葉区図書取次サービスを拡大し、取扱い冊数を増加させました。また繁忙期に駆返却ポストの巡回回数を増やし、円滑なサービスに努めました。取扱い冊数510冊/日 	A
目標5 これからの図書館を考える取組を進めます	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市立図書館としてはじめての試みである指定管理者の成功に向けて努めています。(通年) ●図書館運営が軌道に乗るように、研修や業務内容の確認を行います。また、スタッフ全員が利用者の要望に応えられるようにスタッフミーティングや朝礼などで情報を共有化します。(通年) ●対象を限定し、有料宅配を試験的に実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市立図書館としてはじめての試みである指定管理者の成功に向けて努めてました。(通年) ●図書館運営が軌道に乗るように、研修や業務内容の確認を行います。また、スタッフ全員が利用者の要望に応えられるようにスタッフミーティングや朝礼などで情報を共有化しました。(通年) ●対象を限定し、有料宅配を試験的に実施しました。(12月) 	B
図書館の中期的な目標についての検討 次期の図書館システムの検討に必要な課題の整理 図書館の評価の仕組みの検討 効率的な図書館運営の検討 職員の資質の向上			